富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山県でのキシノウエトタテグモの記録

著者	石須 秀知, 根来 尚
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	38
ページ	131
発行年	2014-06-20
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=1002

短　　報

富山県でのキシノウエトタテグモの記録＊

石須　秀知
魚津埋没林博物館
937-0067 魚津市釈迦堂814

根来　尚
富山市科学博物館
939-8084 富山市西中野町1-8-31

Latouchia swinhoei typica taken in Toyama Prefecture

Hidetomo Ishizu and Hisashi Negoro

キシノウエトタテグモは，本州，四国，九州に分布する地中棲のクモである．日本海側では山形県が北限となっているが，富山県では未発見であった．

本種は，寺社境内や公園，崖地などの比較的明るい所の地中に縦坑を掘り巣とし，坑の入り口に蓋をしている．このような巣を造るため，見つけづらいものである．

また，本種は人の居住区域に近く生息しており，生息地が失われやすく全国的に減少してきているとのことである．

石川県では金沢市内の３カ所から発見されていて，石川県のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定されている．また，環境省のカテゴリーでも準絶滅危惧種とされている．

本種が，以下のように得られているので報告する．

キシノウエトタテグモ　*Latouchia swinhoei typica* (kishida, 1913)

採集個体：１♂（図１）
採集場所：富山市奥田新町
採集日：2013年10月25日
採集者：石須菖一朗
本個体は，採集者から富山市科学博物館に寄贈され保管される．

本個体は，巣中において発見されたものでは無く，道路上を歩行中の♂個体が得られたものであり，鋭意探索中であるが，まだ，土中の巣は発見されていない．



図１　キシノウエトタテグモ♂

文献

徳本　洋，2009．キシノウエトタテグモ．「改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物　いしわかレッドデータブック［動物編］2009」石川県野生生物保存対策調査会（石川県環境部自然保護課）：434．

＊富山市科学博物館研究業績第469号